

③ 排水門排水の拡散状況調査

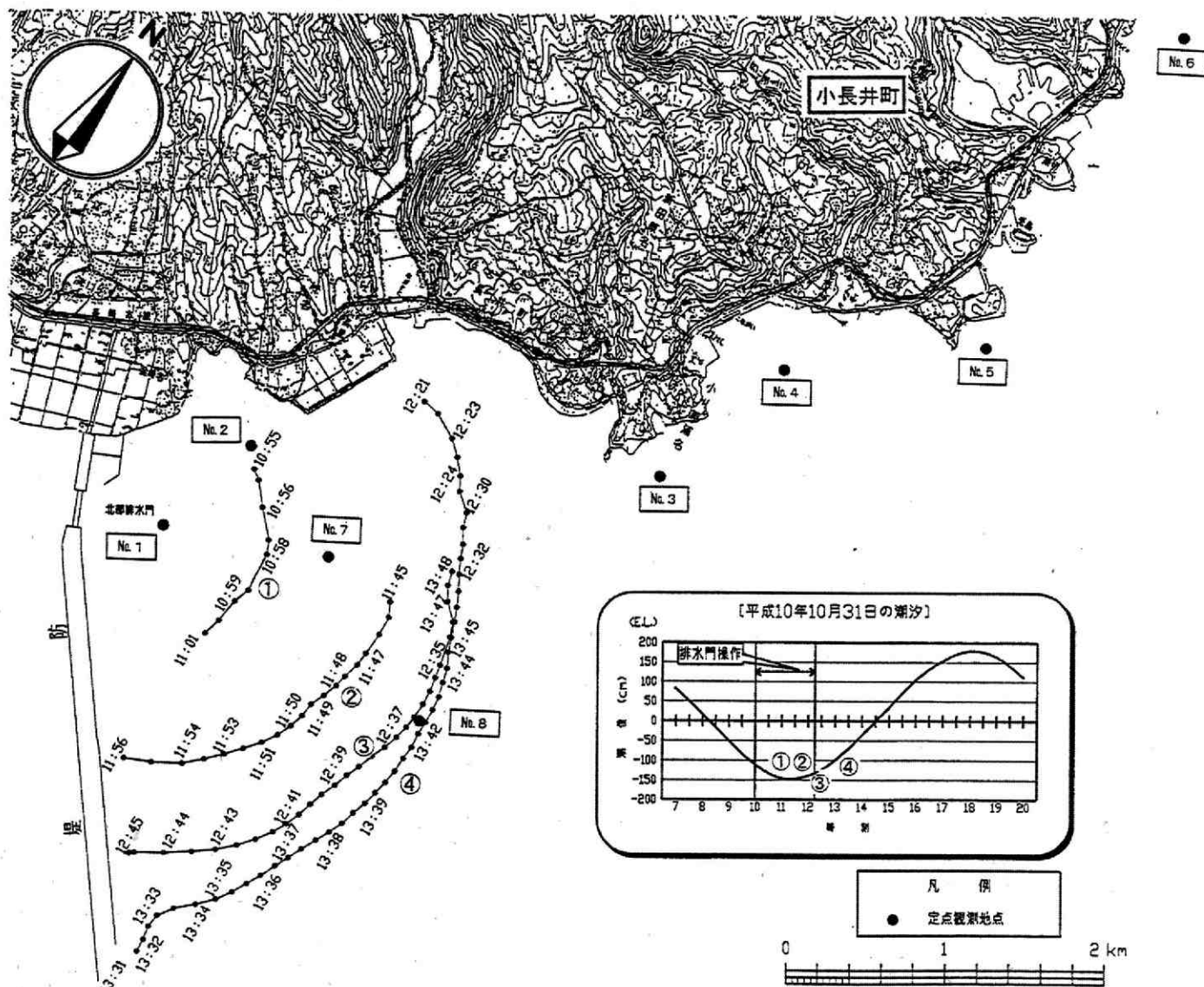
1. 平常時調査 (H10.10.31)

調査条件：排水門操作 2時間13分 (開放10:01～閉鎖12:14)
 放水量 約160万m³
 象 象 風速(E) 2.6m/sec ~ (ENE) 1.4m/sec
 潮の状況 EL (-) 1.09m ~ (-) 1.43m

(1) 排水門排水時の水平分布観測

潮受堤防に沿って排水門から約3km、小長井町方向へ約2.2kmに至るだ円状に拡散しているのが認められた。

○排水門排水に伴う濁りの拡散状況 (目視観測)

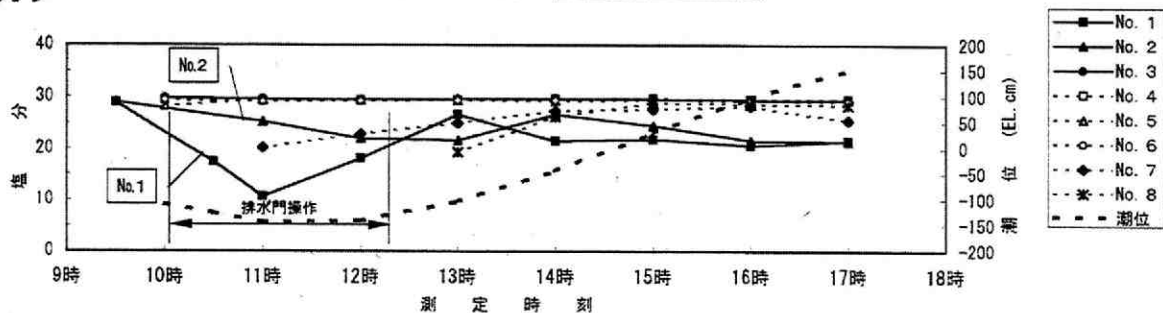


・ (2) 排水門排水時の定点鉛直観測 (海面下0.5m及び海底上1.0m)

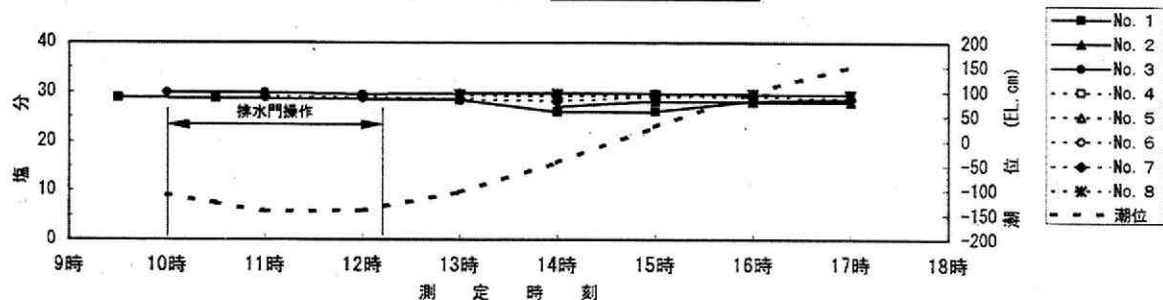
塩分、濁度、SSとも、排水門近くの海面部分で変化がみられた。

〔塩分〕

塩 分 (海面下0.5m)



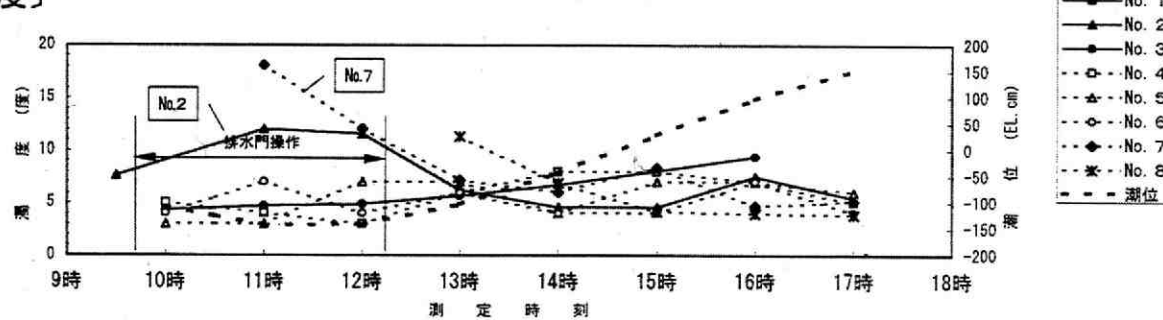
塩 分 (海底上1.0m)



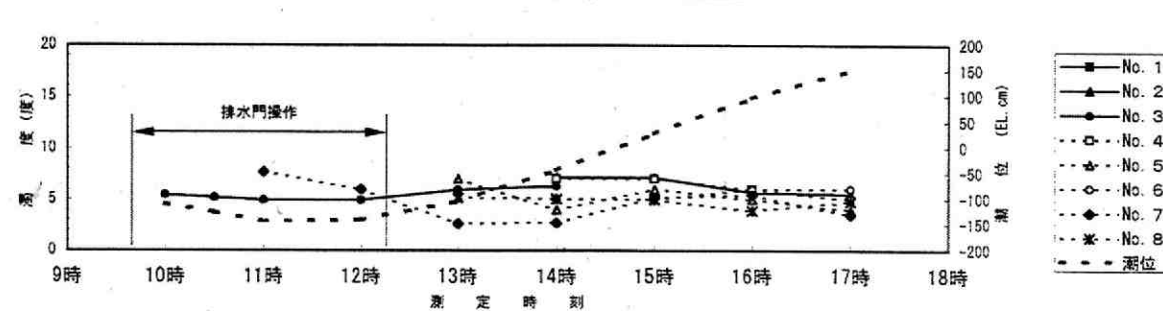
注) EL.の基準面は、大浦の潮位基準面上2.7mにあたる。

〔濁度〕

濁 度 (海面下0.5m)



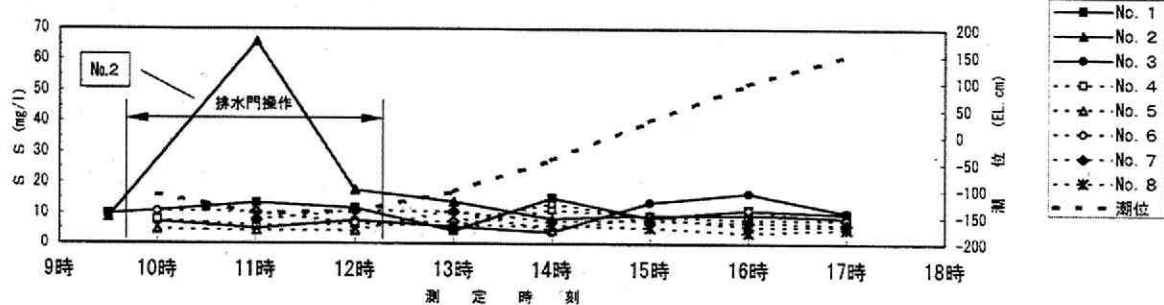
濁 度 (海底上1.0m)



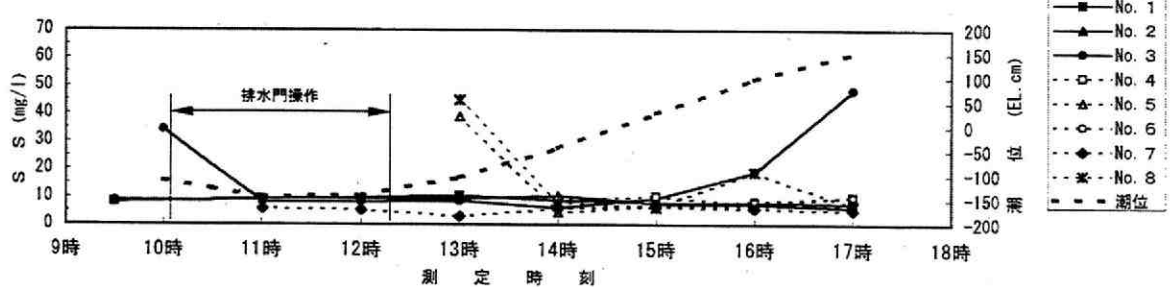
注) 1 No. 1における測定値は、機器異常のため、欠測とした。
2 No. 3における15時と17時の測定値については、パッチ状に分布する赤潮の影響を受けているため、欠測とした。
3 EL.の基準面は、大浦の潮位基準面上2.7mにあたる。

[SS]

SS (海面下0.5m)



SS (海底上1.0m)



- 注) 1 EL. の基準面は、大浦の潮位基準面上2.7mにあたる。
 2 海面下0.5m (No. 2 : 11時)、海底上1.0m (No. 3 : 10時、17時、No. 5、8 : 13時) の高濃度については、底泥の巻き上げ現象による影響が考えられる。

2. 洪水時調査（梅雨期：H11.6.25）

調査条件：排水門操作 4時間21分（開放10:05～閉鎖14:26）

放水量 約2,790万m³

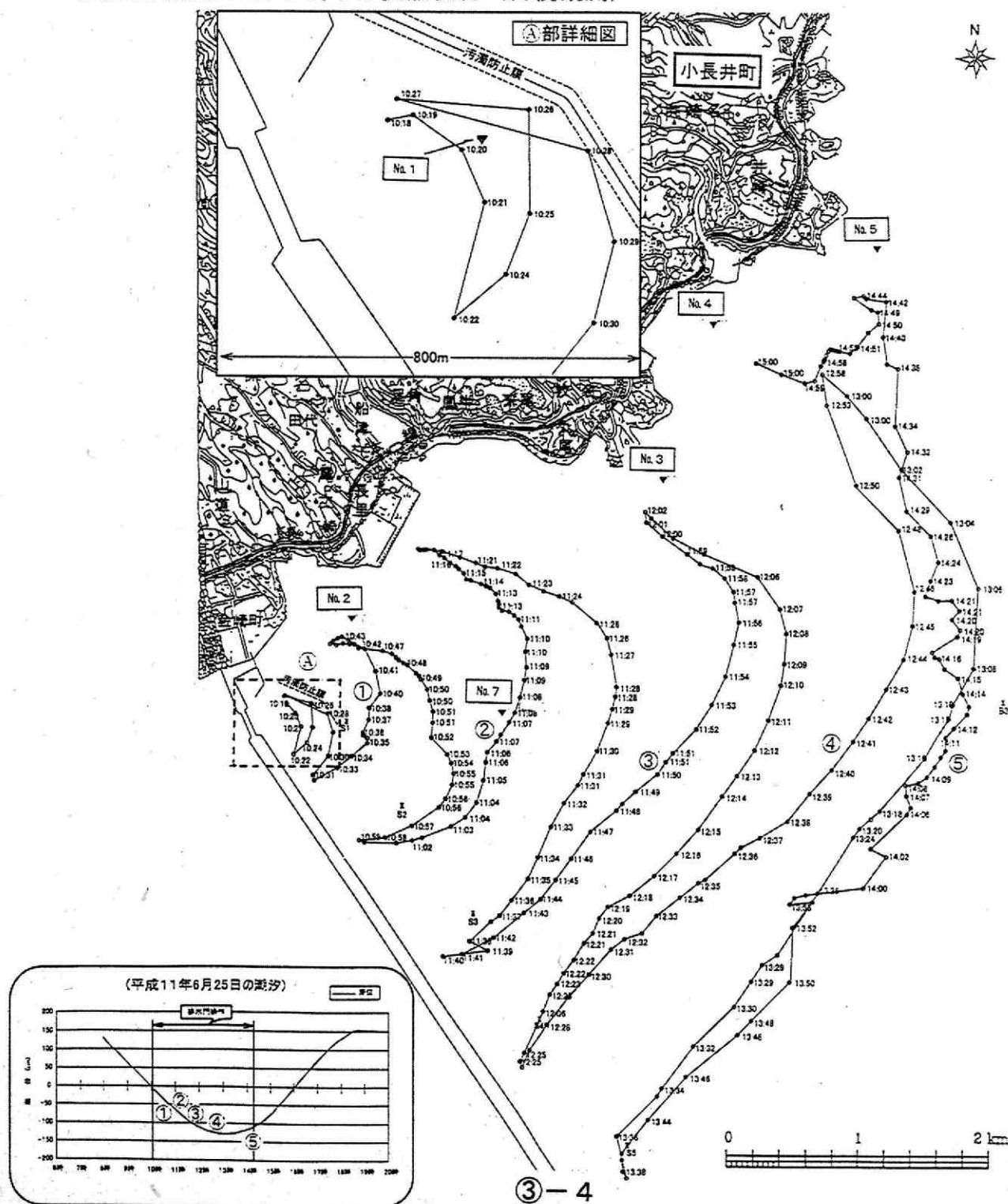
気象 風速(NNE)4.9m/sec ~ (ENE)1.2m/sec

潮の状況 EL (-)0.03m ~ (-)1.32m

(1) 排水門排水時の水平分布観測

潮受堤防に沿って排水門から約4.5km、小長井町方向へ約6kmに至るだ円状に拡散しているのが認められた。

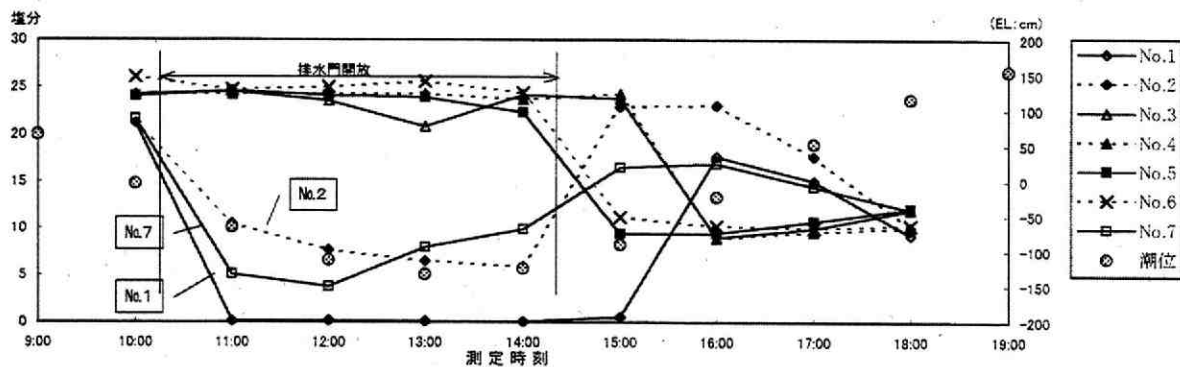
○排水門排水に伴う濁りの拡散状況（目視観測）



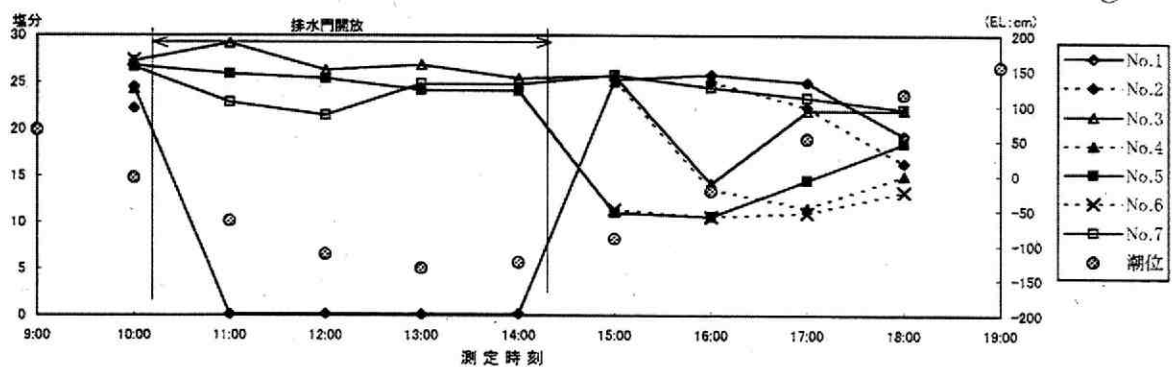
- ・ (2) 排水門排水時の定点鉛直観測 (海面下0.5m及び海底上1.0m)
塩分、濁度、SSとも、排水門近くで海底まで変化がみられた。

〔塩分〕

塩 分 (海面下0.5m)

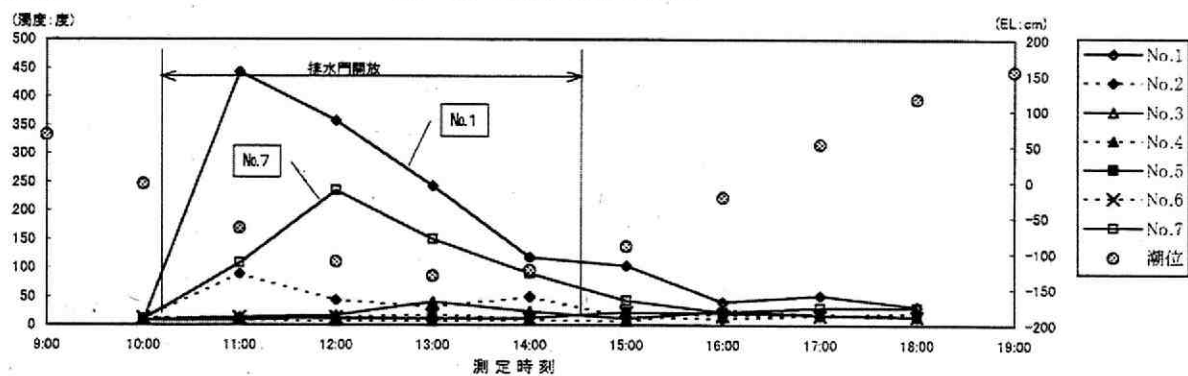


塩 分 (海底上1.0m)

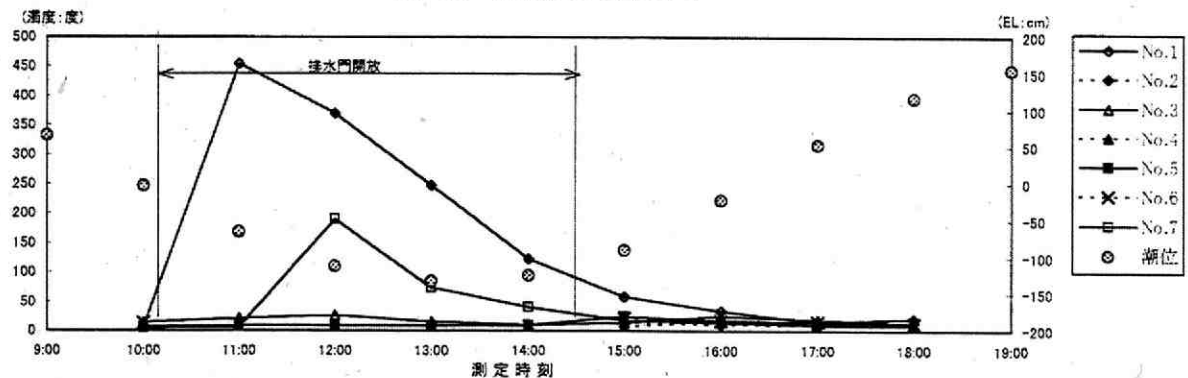


〔濁度〕

濁 度 (海面下0.5m)

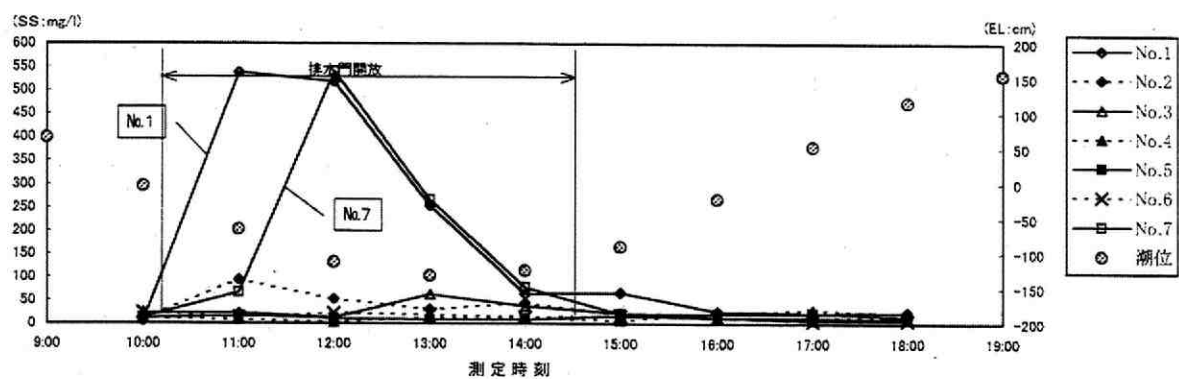


濁 度 (海底上1.0m)



[SS]

S S (海面下0.5m)



S S (海底上1.0m)

